

事務事業名	ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業	事業期間	1991 ~	年度	係内番号	08
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	連絡先	634	

政策番号	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
		基本計画①	04	多文化共生・国際交流推進計画	0201	国際理解の推進		
		基本計画②	01	多文化共生・国際交流推進計画	0201	国際理解の推進		
		実行計画	01	多文化共生・国際交流推進計画	0201	国際理解の推進		

予算事業名	国際交流事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	01	事業	07
-------	---------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
平成3年(1991年)より、姉妹都市アメリカ合衆国コロラド州ロングモント市と相互のホームステイによる交流事業を行っている。平成13年(2001年)からNPO法人茅野国際クラブに事業を委託している。選考された中学生及び高校生がロングモント市へ派遣され、現地の方と交流を深める。派遣された生徒は、翌年、ロングモント市からの来訪者を各家庭に受け入れる。また、ロングモント市からの来訪者は、茅野市内の保育園や小中学校を訪れ、児童生徒が異文化に触れる機会となっている。

現状と背景
(どうして)
茅野市においても、国際化が進み、地域と世界との関わりは日常的なこととなっている。こうした中、国際化に対応できる人材を育成することが求められている。ホームステイ交流を通じ、児童生徒に異文化に触れる機会を提供し、国際感覚や自主性・協調性を身に付ける機会とする。

目的
対象
受益者
(誰のために)
保育園児、小学生、中学生及び高校生

対象
対象
(直接働きかける)
派遣対象者 中学生2、3年生及び高校生1、2年生

目的
意
(どんな状態にしたいか)
姉妹都市間の交流事業を通じ、児童生徒が異文化を理解し、国際感覚や自主性・協調性を身に付ける。市民レベルでの国際交流を推進し、姉妹都市間の親睦を深める。

手段・方法
(どうやって)
NPO法人茅野国際クラブに事業を委託し、派遣及び受け入れに関する事業を行う。派遣及び受け入れについては、事業を円滑に行うため、語学研修や、プレゼンテーションの練習、受け入れプログラムの作成等、事前研修会を開催する。また、研修会において、姉妹都市に関する知識を深める。ロングモント市来訪団は保育園を訪問し、園児と交流する。また、小中学校を訪問し、学校生活を体験する。児童生徒は、学校生活や日本の文化を来訪者に紹介し交流する。

評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1 交流行事の開催	交流行事数	回	来訪団滞在中の交流行事数	7
成果指標	成果・効果は何?		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1 交流行事の参加者数	参加者及び協力者数	人	派遣者及び来訪者、茅野市のホストファミリー、委託先の協力者の合計	80	

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	事業費等(a)	円	2,663,600	2,730,000			
状況	国庫支出金	円	0				
	県支出金	円	0				
	地方債	円	0				
	その他特定財源	円	0				
	一般財源	円	2,663,600	2,730,000			
D	交流行事数	目標	回	7	7		
		実績		11			
	達成率	%	157.14	-	-	-	
	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	参加者及び協力者数	目標	人	80	80		
		実績		88			
	達成率	%	110.00	-	-	-	
	-	目標	-				
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業	事業期間	1991 ~	年度	係内番号	08
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	連絡先	634	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性	成果			
		コスト			

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 (C H E C K)	変果動指要標因分 ・来訪団の受入れにあたり、スケジュールの組み立てを工夫したことにより、行事数が目標を上回った。 ・事業の周知や行事への協力を呼びかけたことにより、関係者の参加が増え、目標数を上回った。				
	総合評価 成果 ・来訪団と茅野市の生徒が行事を通じ、英語による積極的な交流をすることができた。 ・交流において、お互いの考えや文化を尊重し、理解しようとする姿勢が深まった。				
	課題 ・来訪団の滞在期間は10日間であり、行事をこれ以上増やすことは困難である。来訪団の希望にも配慮しながら、計画する必要がある。				
改革・改善の方向性 (ACT)	翌年度方向性 成果 縮小 コスト 縮小				
	改革の方向性の内容 ・派遣生徒がロングモント市において、茅野市の代表として積極的に交流できるように、事前研修の内容を検討し実施する。 ・受入れにおいては、多くの方が関係するため、定期的に情報共有し、安全に事業を実施する。 ・姉妹都市提携30周年記念事業(2019年度実施)は、2020年度以降実施しないため、その分の予算が縮小する。 ・ホームステイ交流事業は、航空運賃等交通費の値上がりのため、2020年度予算はやや拡大する予定。				

作成担当者	田中 美和				
最終評価責任者	藤森 隆				
最終評価年月日	2019年5月17日				